

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わりようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	1 ことばをひらく 【知識及び技能】 主張と根拠などの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ ・教材 「『変わる』ことを楽しもう」 「コミュニケーションは技術だ」				○	【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。〔2〕ア 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1〕ア 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	5
	2 日本語を使いこなす 【知識及び技能】 場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫する。 「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにする。	・指導事項 話し言葉と書き言葉、常体と敬体、敬語、類義語の理解 ・教材「ことばの使い分け」				○ ○	【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。〔1〕イ 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえ、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫している。〔A1〕ウ ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫している。〔B1〕ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉を正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	3 わかりやすく説明する 【知識及び技能】 文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組む、説明のしかたをとらえようとする。	・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ、調べ学習、発表 ・教材 「生きることと食べることの意味」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。				○	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。〔1〕オ ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2〕イ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1〕ア 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、説明のしかたをとらえようとしている。	○	○	○	8
	4 聞く力を育む 【知識及び技能】 話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使う。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとする。	・指導事項 相互インタビュー、情報の収集と整理 ・教材 「ミニインタビューをしよう」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。				○	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴をふまえ、適切な言葉遣いや表現を理解し、使っている。〔1〕イ 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、適切なテーマを決め、必要な情報を収集するためにインタビューのしかたを工夫している。〔A1〕ア ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を予想して話の内容や展開、質問のしかたを工夫しながらインタビューを行っている。〔A1〕エ 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インタビュー活動に興味をもち、積極的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1
	5 論理を読み取る 【知識及び技能】 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解する。個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。	・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ、調べ学習、発表 ・教材 「水の東西」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。					【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。〔1〕カ ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。〔2〕イ 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C1〕ア				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読						
2 学 期	【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとする。	習、発表を行う。			○	・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。〔C(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係、具体例の役割、筆者の主張などをとらえようとしている。	○	○	○	6	
	6 伝え合いのレッスン 【知識及び技能】 話し言葉の特色をふまえ、相手に配慮した言葉遣い、わかりやすい言葉遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて情報を収集、整理し、自分の立場や考えを明確にして、構成や展開を工夫しながら話す。「話すこと・聞くこと」において、議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合いの活動に興味をもち、よりよい話し合いをしようとする。	・指導事項 テーマディスカッション、情報の収集と整理 ・教材 「テーマを決めて話し合おう」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。			○	○	【知識・技能】 ・話し言葉の特色をふまえ、相手に配慮した言葉遣い、わかりやすい言葉遣いを理解している。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて情報を収集、整理し、自分の立場や考えを明確にして、構成や展開を工夫しながら話している。〔A(1)ア、イ〕 ・「話すこと・聞くこと」において、議論の広げ方や深め方、結論の出し方を工夫して話し合っている。〔A(1)オ、(2)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し合いの活動に興味をもち、よりよい話し合いをしようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1	
	7 説得力を高める 【知識及び技能】 主張と根拠の関係や、話の効果的な組み立て方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 討論することに関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。	・指導事項 討論会、情報の収集と整理 ・教材 「ミニ討論会をしよう」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。			○	○	【知識・技能】 ・主張と根拠の関係や、話の効果的な組み立て方について理解している。〔(1)オ、(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。〔A(1)イ、(2)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・討論することに関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。				7
	8 情報と向き合う 【知識及び技能】 主張と根拠など情報と情報との関係について理解する。情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章や図形などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 視点や根拠に注意し、文章や図形などから必要な情報を読み取ろうとする。	・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ、調べ学習、発表 ・教材 「情報の力関係」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。			○		【知識・技能】 ・主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章や図形などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・視点や根拠に注意し、文章や図形などから必要な情報を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
3 学 期	9 他者を動かす 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりする。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いながら、相手の心を動かすことができるよう表現を工夫して発表する。 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションすることに意欲をもち、積極的に学習に取り組む。	・指導事項 プレゼンテーション、情報の収集と整理 ・教材 「プレゼンテーションをしよう」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習、発表を行う。			○	○	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確にわかりやすく話したり、効果的な発表資料を作成したりしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いながら、相手の心を動かすことができるよう表現を工夫して発表している。〔A(1)ウ、(2)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・プレゼンテーションすることに関心を持ち、積極的に学習に取り組んでいる。	○	○	○	6
	10 社会に目を向けて 【知識及び技能】 例示や言い換えなどの述べ方について理解する。筆者の主張とその根拠の関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、筆者の主張	・指導事項 評論文読解、漢字の読み書き、語句の意味調べ、調べ学習、発表 ・教材 「何のために『働く』のか」 ・一人1台端末を活用し、調べ学習					【知識・技能】 ・例示や言い換えなどの述べ方について理解している。〔(1)カ〕 ・筆者の主張とその根拠の関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、筆者の主張とその根				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書 読					
	根とその根拠となる具体例についてとらえる。「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとする。	習、発表を行う。		○	拠となる具体例についてとらえている。[C(1)ア] ・「読むこと」において、文章の内容について自分の考えを深めている。[C(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで文章の内容をとらえようとするとともに、自分の考えをもち、意欲的に伝えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1 合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（新編言語文化 大修館書店）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、障害に渡って読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 言葉と出会う 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直す。	・指導事項 ・教材「季節の言葉と出会う」	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B (1)ア〕 【主体的に取り組む態度】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。	○	○	○	6
	2 古文に親しむ 【知識・技能】 ・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりする。	・指導事項 ・教材「詩歌を楽しもう」 ・教材「古文への招待」 「いろは歌」 「古文冒頭選」 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B (1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B (1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	3 漢文に親しむ 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材「訓読のきまり」 「格言」「守株」 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B (1)オ〕 【主体的に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	4 随筆を楽しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】	・指導事項 ・教材『徒然草』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	・「読むこと」において、音読して古文の読みに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつ。		基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に取り組む態度】 ・『徒然草』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもつとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	5 文化を見つめる 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深める。 ・デザインをとおして、日本文化の特色について自分の考えを深める。	・指導事項 ・教材「足し算の文化、ほどほどのデザイン」	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。〔B(1)ア〕 【主体的に取り組む態度】 ・日本文化の特徴について筆者の主張をとらえることに興味をもち、日本文化の特色について理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	6 物語の広がり 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取る。	・指導事項 ・教材『伊勢物語』『芥川』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	7 物語を受け継ぐ 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項 ・教材『羅生門』 等 ・一人1台端末 等	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔(1)イ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	7
	8 漢文を楽しむ 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・指導事項 ・教材『論語』『完壁』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。〔(2)ア〕 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。〔(2)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。〔B(1)オ〕 【主体的に取り組む態度】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
学	9 物語を受け継ぐ 【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項 ・教材『羅生門』 ・一人1台端末 等	【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。〔(1)イ〕 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)カ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	7
	10 旅への思い 【知識・技能】 ・誰の発言かに注意し、物語の内容を読み取る。 ・漢字の読みと日本の言語文化についての理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりする。	・指導事項 ・教材『土佐日記』『門出』 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。〔(2)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。〔B(1)ウ〕 【主体的に取り組む態度】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 公民 科目

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 第一学習社 高等学校新公共 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】 自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結び付くことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ①社会に生きる私たち ②個人の尊厳と自主・自律 ③多様性と共通性 ④伝統文化とのかかわり ⑤自立した主体をめざして 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	5
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して考える。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、選択・判断の手掛かりとなる考え方も活用しながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ①人間と社会のあり方についての見方・考え方 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	公共的な空間における基本原理 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など公共的な空間における基本原理について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して考える。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理をふまえて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ①人間の尊厳と平等、個人の尊重 ②民主主義と法の支配 ③自由・権利と責任・義務 ④日本国憲法に生きる基本原理 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	7
	法的な主体となる私たち 【知識及び技能】 法の主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 法の主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 教材 ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	政治的な主体となる私たち 【知識及び技能】 政治的な主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。	指導事項 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 教材 ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 政治的な主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	主題7 国際社会の変化と日本の役割 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○	○	1
	経済的な主体となる私たち 【知識及び技能】 経済的な主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 経済的な主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題10 市場経済の機能と限界 主題11 金融のはたらき 主題12 財政の役割と社会保障 主題13 経済のグローバル化 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識及び技能】 持続可能な社会づくりの主体として、関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 持続可能な社会づくりの主体として、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	指導事項 ①排出権取引を考える～地球環境問題 ②ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ゲノム編集を考える～生命倫理 ④インターネットによる投票を考える～情報 ⑤フェアトレードを考える～国際社会の課題 教材 ・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識の習得に取り組み、ワークシート等の作成をとおして学習内容を整理している。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

数学科

科目 数学Ⅰ

教科：数学科

科目：数学Ⅰ

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～4組

使用教科書：（最新数学Ⅰ（数研出版））

教科 数学科

の目標：

【知識及び技能】問題を正確に理解し、定義や定理等をもとに式を立てることで適切に計算できる。

【思考力、判断力、表現力等】公式を暗記して計算するだけでなく、その式の成り立ちについて理解している。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的であり、家庭学習用の課題についても意欲的に取り組んでいる。

科目 数学Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、基礎的な知識の習得を目指し、それを活用する力を身に付ける。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、事象を数学的に考察する能力や、式の成り立ちについて理解し、またそれを説明できる。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、興味・関心をもてるとともに、課題に対しても積極的に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式 多項式の加法、減法、乗法の計算ができるようにする。また因数分解についても簡単なものから思考力を必要とするような問題まで扱えるようにする。 第2節 実数 有理数、無理数の定義を理解させるとともに、有理数である循環小数を分数表記に変換できるようにする。また、根号のを含む式の加法、減法、乗法さらに分母の有理化ができるようにする。	【指導事項】 ・数と式 ・実数 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第1章 数と式 第3節 1次不等式 1次不等式を解けるようにする。また、文章題を読み解き、1次不等式を立てられるようにする。 第2章 集合と命題 集合と要素の定義、集合同士の関係や、そこから導かれる法則などについて理解させる。さらに、集合で学んだ包含関係が命題の真偽を決定づける重要な役割を持つことについて考察させ、具体的な問題における真偽を判定できるようにする。さらには背理法を用いる証明問題にも取り組めるようにする。	【指導事項】 ・実数 ・1次不等式 ・集合 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 代表的な点をいくつか取ることで、簡単な2次関数のグラフがかけられるようにする。また、一般の2次関数についても平方完成することで、グラフの概形が決まることを理解させる。そして、その平方完成の計算手法についても習得させる。 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式・2次不等式と2次関数の関係性について考察できるようにする。そして、問題をグラフ的背景を踏まえて解くことができるようにする。	【指導事項】 ・命題 ・2次関数とグラフ 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 三角比の定義を理解させる。また、三平方の定理を用いることで、三角比に関する相互関係が得られることを理解させ、その相互関係を用いて具体的な問題を解けるようにする。 第2節 正弦定理・余弦定理 円周角の定理を利用することで正弦定理が導かれ、三平方の定理を一般化することで余弦定理が導かれることを理解させる。そして、それらの定理を活用し三角形に関する辺や角を求める問題が解けるようにする。	【指導事項】 ・2次方程式と2次不等式 ・三角比 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	20

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第5章 データの分析 一見特徴のない単なる数値的なデータについても、各代表値や散らばり度合い、データの相関を見ることで、その特性が見えることを理解させる。また、なるべく多くのデータを扱うことで、それらの扱い・処理に慣れる。	【指導事項】 ・正弦定理、余弦定理 ・データの分析 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

数学科 科目 数学Ⅰ

教科：数学科

科目：数学Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 5組～6組

使用教科書：（最新数学Ⅰ（数研出版））

教科 数学科

の目標：

【知識及び技能】問題を正確に理解し、定義や定理等をもとに式を立てることで適切に計算できる。

【思考力、判断力、表現力等】公式を暗記して計算するだけでなく、その式の成り立ちについて理解している。

【学びに向かう力、人間性等】授業に積極的であり、家庭学習用の課題についても意欲的に取り組んでいる。

科目 数学Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、基礎的な知識の習得を目指し、それを活用する力を身に付ける。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、事象を数学的に考察する能力や、式の成り立ちについて理解し、またそれを説明できる。	数と式、二次関数、図形と計量、集合と命題、データの分析について、興味・関心をもてるとともに、課題に対しても積極的に取り組める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 数と式 第1節 数と式 多項式の加法、減法、乗法の計算ができるようにする。また因数分解についても簡単なものから思考力を必要とするような問題まで扱えるようにする。 第2節 実数 有理数、無理数の定義を理解させるとともに、有理数である循環小数を分数表記に変換できるようにする。また、根号のを含む式の加法、減法、乗法さらに分母の有理化ができるようにする。	【指導事項】 ・数と式 ・実数 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第1章 数と式 第3節 1次不等式 1次不等式を解けるようにする。また、文章題を読み解き、1次不等式を立てられるようにする。 第2章 集合と命題 集合と要素の定義、集合同士の関係や、そこから導かれる法則などについて理解させる。さらに、集合で学んだ包含関係が命題の真偽を決定づける重要な役割を持つことについて考察させ、具体的な問題における真偽を判定できるようにする。さらには背理法を用いる証明問題にも取り組めるようにする。	【指導事項】 ・実数 ・1次不等式 ・集合 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 代表的な点をいくつか取ることで、簡単な2次関数のグラフがかけられるようにする。また、一般の2次関数についても平方完成することで、グラフの概形が決まることを理解させる。そして、その平方完成の計算手法についても習得させる。 第2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式・2次不等式と2次関数の関係性について考察できるようにする。そして、問題をグラフ的背景を踏まえて解くことができるようにする。	【指導事項】 ・命題 ・2次関数とグラフ 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 三角比の定義を理解させる。また、三平方の定理を用いることで、三角比に関する相互関係が得られることを理解させ、その相互関係を用いて具体的な問題を解けるようにする。 第2節 正弦定理・余弦定理 円周角の定理を利用することで正弦定理が導かれ、三平方の定理を一般化することで余弦定理が導かれることを理解させる。そして、それらの定理を活用し三角形に関する辺や角を求める問題が解けるようにする。	【指導事項】 ・2次方程式と2次不等式 ・三角比 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	13

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第5章 データの分析 一見特徴のない単なる数値的なデータについても、各代表値や散らばり度合い、データの相関を見ることで、その特性が見えることを理解させる。また、なるべく多くのデータを扱うことで、それらの扱い・処理に慣れる。	【指導事項】 ・正弦定理、余弦定理 ・データの分析 【教材】 教科書：数研出版「最新数学Ⅰ」 補助教材：数研出版「3 ROUND数学Ⅰ」	【知識・技能】 授業内での発問 課題プリント 【思考・判断・表現】 定期考査 知識の有無に関わらず、問の本質を見抜けているかどうか 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内での発問 課題プリント 理解できなかったとき質問が出来る	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（科人701 科学と人間生活（東京書籍））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察、実験を行う。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象に対する化学の基本的な概念や原理法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てる。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然の事物・現象を人間生活と関連付けて、問題を見出し、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	序章 科学技術の発展 ・科学技術の歴史と発展 ・エネルギーや情報技術の発展 ・持続可能な未来のために 【知識及び技能】 科学技術の進歩が人間生活にどのような影響をもたらしたかを考え、科学技術が人間生活を豊かで便利にしてきたことや、人間生活に不可欠であることを理解する。 エネルギーや情報技術の発展について調べ、それらと科学技術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活や社会、未来と、科学がどのようにつながっているのかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術の発展が今日の人間生活に貢献してきた反面、それによってもたらされた課題があることを知り、持続可能な社会をつくるための取り組みや自分たちにできる活動について調べ、レポートを作成したり発表したりする。	指導事項 ・オリエンテーション ・科学技術の流れ ・科学技術と生活の結びつき 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 科学技術の発展が人間生活を豊かで便利にしてきたことや、現代の人間生活に科学技術が不可欠であることを理解している。 【思考・判断・表現】 科学技術が人間生活に果たす役割について、調べたことを基に考察し、表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 科学技術と人間生活との関わりに関心をもち、資料を調べたり、友達と対話したりしながら、科学技術が果たす役割や課題について考えようとしている。	○	○	○	5
	第Ⅱ編 物質の化学 第2章 衣料と食品 第1節 衣料の化学 第2節 食品の化学 【知識及び技能】 植物繊維がセルロースから、動物繊維がタンパク質からできていることを理解する。 再生繊維や半合成繊維の原料と用途について理解する。 油脂の構造と性質について理解する 炭水化物は糖類ともよばれ、単糖類、二糖類、多糖類に分類されることを理解する。 タンパク質の変性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな天然繊維の特徴と用途について理解し、それぞれがなぜその用途で利用されているのかを考える。 ふだんの食事にはどのような栄養が含まれているかを考え、体に必要な栄養素について問題を見いだす。 【学びに向かう力、人間性等】 植物繊維や動物繊維の利用とその製品の製造の例を通して、繊維に対する興味・関心を高める。 タンパク質の利用とその利用の例を 定期考査	指導事項 ・身の回りのいろいろな繊維 ・有機繊維と無機繊維の特徴と有用性 ・食品に含まれる各栄養素のはたらき ・石鹸で汚れが落ちる仕組み ・炭水化物、タンパク質の変化 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 血糖濃度を調節する仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 既習の内容や生徒経験から問題を見出したり、データをもとに科学的に考察してる。 【主体的に学習に取り組む態度】 知識・技能の習得に向けて粘り強く取り組んでいる。ワークシート等の作成を通して自分の学習を調整しようとしている。	○	○	○	8
				○	○		1
	第Ⅰ編 生命の科学 第1章 人の生命現象 第1節 人の視覚と光による影響 第2節 血糖濃度を調整する仕組み 第3節 体を守る免疫の仕組み 第4節 生命現象の大本となる遺伝子の働き 【知識及び技能】 ヒトの目の構造や免疫など体内に関することを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヒトの体内環境の働きからインスリンや抗体濃度の変化等から働きについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ヒトの生命現象に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	指導事項 ・視覚の特徴 ・血統濃度の調整 ・免疫の仕組み ・DNAの遺伝情報 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 ヒトの視覚が生じる仕組みについて理解している。 安全面や衛生面に留意して実習に取り組み、ブタの眼球について、スケッチや文章で適切に記録している。 炭水化物の消化と吸収や吸収されたグルコースの体内における流れ、血糖濃度について理解している。 免疫の仕組みとしての抗原抗体反応や免疫記憶、それらを利用した治療法について理解している。 DNAの構造や遺伝子とDNAとの関係について理解している。 ヒトの体内には多くの種類のタンパク質があり、それぞれ、生命活動に重要な役割を果たしていることを理解している。 【思考・判断・表現】 活動するためのエネルギー源として炭水化物に着目し、体内での炭水化物の利用に問題を見だし、表現している。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
			一次応答と二次応答の血液中の抗体濃度の変化のグラフを読み取り、科学的に考察して、免疫記憶の利点を見いだし、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを生かして、体内時計を維持するための規則正しい生活の重要性について考えようとして				
	第Ⅲ編 光や熱の化学 第1章 光の性質とその利用 第1節 光の進み方とその基本的な性質 【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 定期考査	指導事項 ・光の進み方と基本的な性質 ・光の屈折と分散 教材 ・小テスト、ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第2節 目に見える光と色の見え方 第3節 目に見えない光とその利用 【知識及び技能】 光を中心とした電磁波の性質とその利用について、日常生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質とその利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 定期考査	指導事項 ・目に見える光と色の見え方 ・目に見えない光とその利用 ・分光器の作成 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 赤外線や紫外線などの電磁波の種類と性質、それらの利用について人間生活と関連付けながら理解している 電波やX線、ガンマ線の性質とそれらの利用について、人間生活と関連付けながら理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまな光源のスペクトルの観察結果を基に、光源による光のスペクトルの違いを見いだし、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだことを生かして、赤外線や紫外線の日常生活への利用における長所と短所について多面的に考えようとしている。				
	定期考査						
	第Ⅳ編 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球 第1節 太陽と月がもたらすリズム 第2節 太陽が動かす大気と水 【知識及び技能】 太陽などの身近に見られる天体の運動や太陽の放射エネルギーについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 太陽と地球について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 太陽と地球に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 定期考査	指導事項 ・太陽と月の周期による変化 ・太陽が動かす大気と水 ・潮位の変化と地球・月・太陽のつながり 教材 ・小テスト、ワークシート等	【知識・技能】 日、月、年という時間単位の定義や意味について、月や地球の運動と関連付けながら理解している。 潮の満ち干と月の引力との関係や太陽、地球、月の位置関係による潮位の変動の周期性、高潮による被害について理解している。 大気の大循環や海流が生じる仕組み、それらによって気候が形成される仕組みについて理解している。 【思考・判断・表現】 既習の内容や生活経験を基に、太陽の放射エネルギーに着目し、太陽の放射エネルギーと大気や気候との関わりに問題を見いだし、表現している。 熱帯低気圧や海水面の温度などの資料を基に、台風の発生場所や移動経路の特徴について科学的に考察し表現している。				
	第1節 身近な自然景観の成り立ち 第2節 自然災害と防災 第Ⅴ編 課題研究 第1章 課題の設定と研究の進め方 第2章 研究の課題例 【知識及び技能】 微生物のはたらきについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、	指導事項 ・身近な自然の成り立ち ・山地、低地、火山の成り立ち ・自然災害（地震・火山・気象） ・防災 ・研究課題の設定 ・研究結果のまとめと分析 教材	【知識・技能】 自然や科学技術と人間生活との関わりについて、自らの課題研究を基に認識を深めている。 課題研究の内容や進め方などを振り返り、科学と人間生活との関わり方や科学的に探究する方法について認識を深めている。 【思考・判断・表現】 既習の内容や生活経験を想起し、自然や科学				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 微生物とその利用について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 微生物とその利用に関する事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。	・ワークシート等 ・一人1台端末の活用 等	技術と人間生活との関わりについて課題を設定するとともに、仮説や調べる計画を立て、表現している。 自ら設定した課題について、得られた結果を基に、科学的に考察して結論を導き、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題研究に関心をもち、友達と対話しながら、進んで課題を設定し、どのように調べれば課題を解決することができるかを考えて計画を立て、表現しようとしている。				
							合計
	定期考査						30

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

体育 科目

教科： 体育 科目： 0

単位数： 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 大修館書店 現代高等保健体育 ）

教科 体育 の目標：

【知識及び技能】基礎的な動作の習得を目指し、運動の楽しさを実感させる

【思考力、判断力、表現力等】運動の特性を理解した上で、自分の出来ることを積極的に見出すことを目標とする

【学びに向かう力、人間性等】生涯体育につなげるための工夫ができることを目標とし、次年度につなげるようにする

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
それぞれの競技の特性を理解し、基礎的な動作の習得とゲームや試合の攻防を楽しむ態度を身に付ける。	それぞれの競技を実践する中で、何が必要か何が足りないのかを常に考え行動できるようにする。	生涯体育に結び付くように、様々な種目を通じて自己の目標を設定し、積極的に取り組めるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	記録の向上や勝敗を競う楽しさ、喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高める。記録に挑戦する気持ちと、安全性に配慮することを身に付ける。	オリエンテーション 基礎体力作り体づくり運動(12月まで)	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	5
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 各種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への参加態度と工夫	○	○	○	8
	実技テスト	各種目 基本動作	知識技能 各種目の動作テスト	○	○		2
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 補強運動の工夫 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	7
	陸上競技では、個人の目標に向かって基本動作を習得し、記録に挑戦する。水泳では、基本動作の習得、4泳法の習得を目標に展開する。さらに、個人の記録にも挑戦できるように活動する。	陸上競技（ハードル・投てき） 水泳	【知識・技能】 礼法の正確性 基本動作の理 【思考・判断・表現】 対人動作の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 作品制作への参加	○	○	○	8
	実技テスト	各種目 基本動作	知識技能 各種目の動作テスト	○	○		2
2 学 期	陸上競技では、個人の目標に向かって基本動作を習得し、記録に挑戦する。水泳では、基本動作の習得、4泳法の習得を目標に展開する。さらに、個人の記録にも挑戦できるように活動する。	陸上競技（ハードル・投てき） 水泳	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 ゲームの運営 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	10
	ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開すること。ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開すること。	ネット型対人 バドミントン・バレーボール ゴール型 サッカー	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 各種目の基本動作のチェック 【思考・判断・表現】 ゲームの運営・チームの役割の理解 【主体的に学習に取り組む態度】 種目への積極的な参加	○	○	○	13
3 学 期	自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走りおし、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。空間認知能力を高め、ラリーを続けることができるようになる。	個人 陸上競技(短距離) 個人 陸上競技(長距離) ネット型対人 卓球	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	○	○	○	10
	自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走りおし、タイムを短縮したり競争したりできるようにする。ボール操作と空間に走りこむなどの動きによってゴール前での攻防を展開する。空間認知能力を高め、ラリーを続けることができるようになる。	個人 陸上競技(短距離) 個人 陸上競技(長距離) ネット型対人 卓球	【知識・技能】 基本的な動作や方法の理解 【思考・判断・表現】 フォームの研究 【主体的に学習に取り組む態度】 記録への挑戦	○	○	○	5
							合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育科 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（大修館書店 現代高等保健体育

）

教科 保健体育 目標：

【知識及び技能】 健康で安全な生活を送るために必要な知識と取り組みを理解させる

【思考力、判断力、表現力等】 自分自身の健康と周りの人々の健康について具体的に課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し、正しく行動できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 最新の知識を習得し、生涯を通じて自他の健康の保持増進を目指し豊かで活力のある生活態度を養うようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単元の課題とその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する	それぞれの単元についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけれらる	それぞれの単元についての理解を深め積極的に学ぼうという姿勢。人間としての側面について思いやりを持って学習することができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	健康の考え方	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 健康の成り立ちとその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する 【思考・判断・表現】 健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけれらる 【主体的に学習に取り組む態度】 健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけれらる	○	○	○	4
	生活習慣病の予防 運動・食事・休養と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 健康的な食生活習慣、運動習慣の形成、よりよい休養・睡眠のとり方について理解し生活改善に反映させる具体的方策を作成する。【思考・判断・表現】 生活を改善する方法を実践できるようにする【主体的に学習に取り組む態度】 レポート作成	○	○	○	4
	喫煙・飲酒・薬物乱用と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、日本や世界におけるたばこ対策について理解し、説明することができる。飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 飲酒・喫煙・薬物乱用の課題解決についてのグループ学習 【思考・判断・表現】 それぞれの課題を発見し、問題提起ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習	○	○	○	3
	精神疾患の予防	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明することができる。性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】エイズとHIVの関係、性感染症・エイズの予防法について個人と社会に分けた対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、グループで発表 【思考・判断・表現】 感染症についての対策について、現状にはめて考えをまとめることができる【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習 レポート作成	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
2 学 期	生活習慣病の予防	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 (1)健康的な食生活習慣、運動習慣の形成、よりよい休養・睡眠のとり方について理解し生活改善に反映させる具体的方策を作成する 【思考・判断・表現】 生活を改善する方法を実践できるようにする 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習 レポート作成	○	○	○	4
	感染症と予防	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明することができる。性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 (1)エイズとHIVの関係、性感染症・エイズの予防法について個人と社会に分けた対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、グループで発表 【思考・判断・表現】 感染症についての対策について、現状にはめて考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習レポート作成	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	現代の感染症	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明することができる。性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	【知識・技能】 (1)エイズとHIVの関係、性感染症・エイズの予防法について個人と社会に分けた対策について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、グループで発表 【思考・判断・表現】				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学期		何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。	感染症についての対策について、現状にはめて考えをまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ学習レポート作成	○	○	○	4
	健康に関する意思決定行動選択	現代社会の健康問題を、諸外国や過去の日本との比較から現在の日本の健康水準をとらえるようにする。生活習慣病や心の健康問題、高齢化社会が社会に与える影響についても理解できるようにする。	【知識・技能】(1)健康の成り立ちとその要因について、個人および社会生活や事例などと比較、分類、分析する 【思考・判断・表現】健康についての理解を深め自分の生活に取り入れるべき事柄を見つけられる 【主体的に学習に取り組む態度】グループ学習レポート作成	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

科目 音樂 I

单位数： 2 单位 2

組～ 組

)

藝術 音樂

【思考力、判断力、表現力等】音楽の要素や関連を知覚し表現できたり、音楽のよさを感じ取ることができる。

【学びに向かう力、人間性等】音楽や音楽文化と関わり、主体的に表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の構造とイメージの関わりについて、理解するとともに、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、演奏する技能を身につける。	メロディを知覚し、その働きを感じながら、どのような音楽を表現し、音楽に対する価値について考え、音楽のよさや美しさを感じながら表現したり聴いたりする。	旋律の変化と雰囲気の変化との関わりに関心を持ち、主体的に創作や鑑賞活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を育み、音楽を愛好する心情を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	鑑 賞					
1 学 期	・発声方法と歌唱表現を身に着け、豊かな表現で歌う。 ・楽譜の読み方・書き方を学び、読譜力・写譜力を身につける。	・ベルカント唱法を基本とした発声練習 ・校歌、独唱曲の表現方法 ・音楽理論 楽譜の正しい読み方、書き方を身につけ、演奏表現に生かすようにする	○		○	観察 課題 学習プリント		○	○	8
	・外国語の発音や特徴を理解し、歌詞の内容や曲調にあった表現を身につける。 ・鑑賞をとおして音楽の諸要素を理解して音楽のよさを理解する。	芸術歌曲の表現方法、イタリア歌曲の性格を捉え、表現方法について学び歌う。 ・簡単なイタリア語について学び、イタリア音楽について理解し、歴史・言語も学びながら歌う。	○		○	観察 課題 学習プリント				12
	・器楽合奏を通して、曲にふさわしい双方や技術を身につける。	・ギターの正しい奏法を身に着け、演奏の基本を学ぶ。 ・TAB譜を見ながらギター演奏をする。		○	○	観察 課題 学習プリント 筆記試験				14
	・リズム合奏を通してリズムを覚え、いろんなリズムを理解する。	・音符、休符について理解し、ボディパーカッションなどを通してリズム合奏に親しむ。 様々打楽器を使ってリズム演奏に親しむ。		○		観察 課題 学習プリント 筆記試験				4
2 学 期	・鑑賞 ミュージカル ・鑑賞 オペラ	オペラとミュージカルの歴史を学びながら、それらの違いについて理解する。 ・ミュージカルの歌を表現豊かに歌う。	○		○	観察 課題 学習プリント				6
	・器楽アンサンブルを通して、曲調や特徴を理解して演奏をする。 ・創作活動を通して作詞・作曲に挑戦する。	・曲調にふさわしい表現になるよう工夫する。 ・音楽の特徴を生かしながらアンサンブルをする。 ・自分がイメージしたものを創意工夫しながら表現できるよう音楽理論を理解したうえで創作活動を行う。	○		○	観察 課題 学習プリント 筆記試験				12
3 学 期	合唱を通して美しいハーモニーを感じながら歌唱する。	・ハーモニーを感じながら合唱する。/ パートに分かれて歌唱練習をする。 ・正しい発声で、歌詞の内容や背景を理解し、情景を思い浮かべながら歌唱できるよう表現を工夫する。	○			観察 課題 学習プリント 筆記試験				14
	伝統音楽の鑑賞を通して、文化的背景や歴史的背景を学ぶ。	・雅楽、能、箏曲、・尺八など、様々な日本の伝統音楽について学び、楽曲を鑑賞しながら伝統音楽への理解を深める。			○	観察 課題				合計 70

高等学校 令和7年度(1学年)教科

芸術 科目 美術 I

教科: 芸術

科目: 美術 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書: (『高校生の美術 I』(日本文教出版))

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に取り組む。

【思考力、判断力、表現力等】 感性や創造力を働かせ、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し表現方法を工夫し構想を練る。

【学びに向かう力、人間性等】 美術作品の表現の工夫や豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化の理解を深め、多様な視点から取り組

科目 美術 I

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に取り組む。	感性や創造力を働かせ、自然、自己、社会などを深く見つめ、主題を生成し表現方法を工夫し構想を練る。	美術作品の表現の工夫や豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化の理解を深め、多様な視点から取り組む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	映						
学	●美術 I 授業の注意 ・約束事や注意点、授業予定を理解する。	・座席決め。 ・授業時の決まりと授業計画、注意点を理解する。	○		○	○	・安全に留意して道具を扱えたか。 ・ワークシート上に規則的で美しい明暗階調を作成できたか。 ・意欲的に取り組んだか。 ・描画材の特徴を理解し、表現する力を高められたか。	○	○	○	1
	●鉛筆素描「手を描く」 ・鉛筆素描の基礎を学ぶ。 ・画用紙の特徴と取り扱いを確認する。 ・描写するものに合った構図や、形の捉え方を理解する。 ・空間表現や光の設定を意識し、立体感・質感の表現を工夫する。完成度を高める。	・画用紙の裏表、凹凸を理解。 ・自分の手の状況と伝えたい表情や手そのものの大きさが伝わるような構図を考える。 ・形態、バランスを観察。・輪郭だけではなく中の形、光と影を意識する。 ・輪郭だけではなく中の形、光と影を意識する。 ・立体感、質感が出てくるように工夫する。 ・時々客観的な視点で眺め完成度を上げていく。	○	○		○	・より良い作品を作るために試行錯誤を重ねることができたか。 ・意欲的で粘り強い制作態度が養われたか。	○	○	○	11
	●デザイン基礎「平面構成」 ・アクリルガッシュとその使用方法を理解する。 ・幾何構成の要点について理解する。 ・四季の一つを主題に選び、その印象に合うよう画面配分や配色を工夫する。彩色の注意点を理解する。 ・彩色の注意点を理解する。	・アクリルガッシュの特性を理解する。 ・「季節」が主題。A4ワークシート枠内を1つの円(円弧)と1本の直線、1本の自由曲線で分割し分割された面を彩色する。 ・マンセル色相環を学ぶ。 ・明度、色相、彩度について理解する。	○	○		○	・アクリルガッシュの特徴を理解し、美しく塗ることができたか。 ・制約の中で工夫して、各自の季節のイメージを構成できたか。 ・意欲的に取り組んだか。	○	○	○	10
	●「河川の愛護月間」絵手紙 ・身近な生活を振り返り、日常生活の中で河川に関わる思い出を表現する。 ・河川愛護月間7月1日～7月31日 ・河川愛護意識の高揚を図る。	・絵手紙の表現技法を理解する。 ・日常生活の中でドラマを感じ、絵と書でまとめることができる。 ・垂らし込み、ぼかし、にじみ、の技法を理解する。 ・文字と絵との構図バランスを考える。 ・河川愛護月間の応募規定に沿った作品制作を行う。 ・応募上の注意を理解する。 ・応募した作品は、国土交通省に帰属する。	○	○		○	・構図を意識した作品制作ができる。 ・絵の具の特性を生かした表現方法ができる。 ・日常生活の雰囲気をとらえ、河川との関りをいきいきと絵手紙に表現することができる。 ・「河川愛護月間」絵手紙募集の主旨に沿った作品が制作できる ・粘り強く試行錯誤を重ねることができたか。	○	○	○	10
2 学 期	●陶芸スクラッチ皿「食卓を豊かにするいきもの」 ・前課題や鉛筆素描の白黒の表現を踏まえ、円形の皿に合ったデザインを考えアイデアスケッチを描く。 ・道具、技法について理解する。 ・世界で一つしかない絵皿を道具各種で削って制作する。	・どのような場所、時間にどのような人が使用するかを考慮し、食卓を豊かにするための工芸作品としての制作を意識する。 ・円形で平らではないこと、釉薬を削り取って図柄を表現していくことを理解する。 ・選んだモチーフを円の中にどのように配置、構成していくかスケッチを重ねて練り上げていく。 ・下絵を丁寧に描き、皿に転写する。・ニードルや竹串、割り箸などで白くしたい部分の釉薬を削り取っていく。・後日800度で焼成(業者に依頼)。	○	○		○	・既製品のお皿でなく、自分がデザインできることに興味を持ち、意欲的に制作できたか。 ・削り方を工夫して奥深い表現ができたか。 ・実際に使ってみることを想定して発送できたか。 ・関心を持って根気強く取り組んだか。	○	○	○	18
	●樹脂粘土による彫刻制作 ・自由に発想したアイデアを平面から立体にアウトプットできる造形力、表現力を養う。 ・やらかい粘土を成形/乾燥/接着/着色へと順序立て計画的に進める。 ・彫刻ならではの360度違う表情を楽しむ。	・アイデアに従った制作プランの立案、芯材制作、塑像技法、道具等を使った表現方法、立体への着色方法。 ・作品鑑賞	○	○	○	○	・紙粘土の特性を活かした造形表現が出来ているか。 ・自由に発想したアイデアを立体作品として実現するための工夫ができたか。 ・彫刻、立体作品に興味を持ち意欲的に取り組めたか。	○	○	○	10
	●ペンで表すモノクロームの世界 ・鉛筆の描写とは違うペンによる白黒の表現技法を習得する。白黒による表現の多様性を理解する。 ・形の省略や強調を考え、立体感や空間を工夫して表現する。	・線や点を重ねたり、余白を活かして画面を構成するペン画ならではの技法を理解する。 ・どのような情景や主題をどのように表現するのか試行錯誤し、画面を構成していく。 ・丁寧に線や点を重ねていき、密度のある画面に仕上げる。	○			○	・ペンの扱い方を習得し、効果的に使えているか。 ・白と黒という制約の中で自由に発想し構想を練り、ペンの使い方を工夫し、独自の表現ができたか。 ・課題に興味を持ち、粘り強く取り組んだか。 ・課題に興味を持ち、粘り強く取り組んだか。	○	○	○	10

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教科：芸術

科目：書道Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組 ～ 4 組

使用教科書：（ 光村図書 「書Ⅰ」

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、

科目 書道Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			漢仮	漢	仮						
1 学 期	単元「書写から書道へ」 ◎小・中学校国語科書写で学習した、基本的な知識・技能を確認させる。 単元「様々な書体の変遷、臨書とは」 ◎古典の臨書を通して技法を学び、表現に生かす学習方法について理解させる。	①筆使い、筆順、字形、配列など小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ②漢字には五つの書体があること、それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解する。			○	○	【知識・技能】 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。	○		○	8
	「文字の造形を学ぶ【楷書】」 単元「あなたは、どの楷書が好き？」 ◎日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。	①A～Dのグループの文字を比較し、自分が好きなものを選ぶ。 ②その文字を選んだ理由や受ける印象を自由に話し合う。 ③選んだ文字ごとにグループを作り、自分が受けた印象は、文字を形成するどの要素から感じ取れるかを話し合う。			○	○	【知識・技能】日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷について理解している。 【思考・判断・表現】漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元「唐の四大家に学ぶ楷書の基本」 ◎楷書の古典「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①唐の四大家の人物や政治的立場など、その人物像を理解する。 ②初唐の三大家と太宗の関係について理解する。 ③唐の四大家の代表作を知り、書道史において果たした役割や位置づけに関連づけて理解する。			○	○	【知識・技能】楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	文字の造形を学ぶ【行書】 ◎行書の古典「蘭亭序」「争坐位文稿」「蜀素帖」「風信帖」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 ②「蘭亭序」を鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。			○	○	【知識・技能】行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	文字の造形を学ぶ【草書／隷書／篆書】 ◎草書、隷書、篆書の古典「真草千字文」「曹全碑」「泰山刻石」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①草書／隷書／篆書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。 ②それぞれの古典が作られた経緯や書風について理解する。 ③学習のめあてと、成立・特徴を確認し、観賞・臨書を通し、点画や線質の特徴を理解する。			○	○	【知識・技能】草書・隷書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】草書・隷書・篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	漢字の創作 古典を生かした創作 ◎漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。	①創作の手順を理解し、書く言葉を決め、表現のイメージを明確にもつ。 ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ③試作を重ね、表現を工夫する。落款を入れ、作品を仕上げる。作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。			○	○	【知識・技能】漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】漢字の古典や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
3 学 期	単元「仮名の成立と種類、仮名の筆使い」「平仮名」「変体仮名」 ◎仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。 仮名の古筆「蓬萊切」「高野切第三種」にて書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。 ②臨書する部分を観察し、意連・形連のしかたや筆脈の流れ、墨濃さの場所を確認する。伸びやかな用筆・運筆を意識して臨書する。			○	○	【知識・技能】線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思考・判断・表現】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	漢字仮名交じりの書 好きな言葉を書こう ◎漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。	①漢字仮名交じり創作の手順を理解し、表現のイメージを明確にもつ。 ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ③試作を重ね、表現を工夫する。落款を入れ、作品を仕上げる。作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	○			○	【知識・技能】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。 【思考・判断・表現】創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10 合 計 70

英語コミュニケーションⅠ

单位数： 3 单位

)

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

[illegible]

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科

家庭 科目 家庭総合

教 科： 家庭 科 目： 家庭総合

単位数： 4 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（ 家庭総合 実教出版 ）

教科 家庭 の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、加速・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標： 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次の とおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭および福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につける。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】ライフステージごとの特徴や課題を理解する。【思考力・判断力・表現力等】自分の将来とこれからの社会について考えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の特徴や長所に気づき、人生を展望できるようにする。	1. 1年間の授業の進め方 2. これからの生き方をデザインさせる。 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や人の一生について考えをまとめることができる。 【思考力・判断力・表現力等】人生のライフステージの特徴と課題について知り、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。	○	○	○	12
	第7章 衣生活をつくる 【知識及び技能】衣服が持つ機能や安全性についての知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力】衣服素材の種類、繊維の種類と特徴、素材の性能について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】日本の和服について理解する。	1. 衣服の素材や管理を理解させる。 2. 衣服をめぐるトラブルと表示の見方を知らせる。 3. 被服実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけたり、不要となった衣類について、リサイクルに回す、作り変えるなど、実生活において実践することができる。 【思考力・判断力・表現力等】作成した作品を自分らしく表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】衣服実習において、製作活動に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	第2章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】結婚、家庭、家族の意義や機能について理解する。 【思考力・判断力・表現力】労働の種類、またその意義について多面的に検討できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】労働を支える社会や地域をしきみを知ること で、私たちもその一員であるという自覚を持つことができるようになる。	1. 社会の変化と家族の変化を学ばせる。 2. 家族の現状と課題を理解させる。 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】青年期の課題である自立や男女平等と相互の協力、生活にかかわる労働の意義、家庭の多様化など、時代と共に変化する役割について理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】図表などから家族の形や家庭のあり方や役割について変化した背景を読み取ることができ、考えを深め表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知りようとする態度がある。	○	○	○	12
	第3章 子どもと関わる【知識及び技能】子どもの誕生や心身の発達、食生活や衣生活、遊びについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力】育児を学ぶ意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】親子関係の課題を理解し、解決に向けてできることを考えることができる。	1. こどもを取り巻く地域と社会を課題を理解させる。 2. こどもの心身の発達と遊びの意義と役割を知らせる。 3. 親になるということを意味を考えさせる。 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】子どもの心身の発達や子どもの生活、接し方、子どもを取り巻く人とのかわりなどの知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】子供と触れ合う体験学習や実践活動について、事前事後のまとめをパワーポイントを通して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】子どもの生活について、積極的に子どものとかかわりながら理解しようとする。	○	○	○	8
	定期考査 ホームプロジェクト			○	○		2
	第6章 食生活をつくる【知識及び技能】栄養素の種類と働きやそれぞれの栄養素が多く含まれる食品についての基礎的な知識を身につける。 【思考力・判断力・表現力】衛生と安全に配慮して、調理することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】日本の食糧事情を解決するためにできることをみつける。	1. 栄養素の働きと食品の栄養を理解させる。 2. 食品の安全性を理解させ、選択する力を養わせる。 3. 調理実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】食事の意義や役割、栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に活かすことができる。 【思考力・判断力・表現力等】地域の食文化やそれが発展してきた背景について、情報収集を行い、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって知識を深めようとしている。	○	○	○	23
	第9章 消費行動を考える 【知識及び技能】契約や多様な販売方法や支払い方法、問題商法について理解する。 【思考力・判断力・表現力】資源や環境に配慮した生活スタイルについて考え、実行できる。	1. 情報化と消費生活の関係性を理解させ、消費者の権利を知らせる。 2. 契約と消費者信用について理解させる。 3. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】消費行動における意思決定の家庭とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 【思考力・判断力・表現力等】多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。	○	○	○	12

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学期	【学びに向かう力、人間性等】情報リテラシーを身につける大切さを理解する。		【学びに向かう力、人間性等】自分が一消費者であることをじあつくし、消費行動や環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。				
	定期考査			○	○		1
	第10章 経済的に自立する 【知識及び技能】家庭の収入や支出、予算生活の必要性について理解する。 【思考力・判断力・表現力】将来の生活設計とかかわらせて、長期の経済設計の必要性について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】家庭経済を国民経済、国際経済の関係性に気づく。	1. 収入と支出の管理について理解させ、貯蓄と家計管理を实践できる力を養わせる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期の経済計画に関わる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 【思考力・判断力・表現力等】現在の経済社会と家計との官営を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えを持ち、判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】自分の経済的自立を考えながら、長期・短期の経済計画について着眼的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	第4章 高齢者とかかわる 【知識及び技能】高齢者の心身の特徴や生活を客観的に理解する。【思考力・判断力・表現力】高齢期の心身の変化による生活行動の不安に気づき、改善する。 【学びに向かう力、人間性等】高齢者、高齢社会への理解を世界の動向からも深める。	1. 高齢者の理解と高齢社会・高齢福祉を知らせる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解し、日常生活の基本的な介助の方法を介助実習を通して身につけることができる。 【思考力・判断力・表現力等】高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより、高齢者の自立した生活とは何か、自分の考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】介助実習においては、積極的に参加し、高齢者の現状を把握しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		2
3 学期	第5章 社会とかかわる 【知識及び技能】個人や家庭生活を支える社会保障制度や社会福祉についての重要性を理解する。【思考力・判断力・表現力】ボランティア活動に興味関心を持てるようにし、実際の活動につなげる。【学びに向かう力、人間性等】将来に向けた課題に気づく	1. 社会保障の必要性や意義、日本の制度を理解させる。 2. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】社会福祉の意味、現在の社会福祉の状況、社会保障制度のしくみについて理解できる。 【思考力・判断力・表現力等】社会福祉や生涯を通しての社会保障制度の仕組みについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通して支え合いのしくみについて着眼的に理解しようとしている。	○	○	○	10
	第8章 住生活をつくる 【知識及び技能】日本の住まいの変遷や生活様式などを理解する。【思考力・判断力・表現力】住まいの生活空間の機能を理解し、空間の特徴や家族のイメージをすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】町の課題について自分なりに解決策を考えることができる。	1. 住まい、住環境の意味を理解させ、ライフスタイルに対応した間取りを考えさせる。 2. 住まいの安全や安心について知らせる。 3. 平面図実習 4. 1人一台端末の活用	【知識及び技能】日本の住まいや歴史、住まい方、家族構成やライフステージなどのかかわりから、平面図を読み取ることができる。 【思考力・判断力・表現力等】住まいの管理方法について、適切な掃除や頻度を考え、判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】住まいの文化や機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくりに向けて着眼的に取り組もうとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科

家庭 科目 生活産業基礎

教科： 家庭 科 目： 生活産業基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（ 生活産業基礎 実教出版

）

教科 家庭

の目標： 家庭生活に関わる産業の見方・考え方を培い、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生活産業基礎

の目標： 家庭生活に関わる産業の見方・考え方を培わせるため、実践的・体験的な学習活動を行う。衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術・情報を収集・整理することができる。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	職業生活と自己実現 ・自立について考える ・働くということについて考える	・自立するために働く ・人生と職業生活 ・働くということへの理解 ・自分の生活と産業の繋がり	【知識・技能】 自立やライフステージについて理解している。 【思考・判断・表現】 働くことへの理解が深まっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学んだ事を振り返り、総括出来ている。	○	○	○	7
	職業人に求められる力 ・社会人基礎力 ・チームコンセンサス	16歳の仕事塾講師によるグループワークを通して目標とする力を得る。 ・社会人基礎力とは ・チームコンセンサス	【思考・判断・表現】 グループワークにおける取り組み方と、授業後の振り返りを要求した提出物において評価する。		○	○	7
	食生活関連産業 ・ヒューマンサービス関連産業に特化してその内容と実態を学ぶ。	・食生活・ヒューマンサービス関連産業について ・保育士・栄養士になるためには（法律の概要） ・資格を生かして多様な働き方をしている職業人について調べる。 ・商品開発・サービス内容等を知る。	【知識・技能】 資格取得とその手段について上級学校別の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 消費者のニーズに対応した商品・サービスを提案、製作、提供するまでの過程における課題を発見し、解決に向けて考察し、レポート等を工夫している。	○	○	○	7
	スペシャリストになるための知識を得るため、上級学校の講師による講義を展開する。	・幼児教育・保育系の大学、専門学校等の出前授業の実施 ・栄養系の大学、専門学校等の出前	【主体的に学習に取り組む態度】 資格の違いとその取得方法、上級学校の種類を踏まえた上で高校で学ぶべき内容を主体的に考えてい			○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期	社会人の心構えと働き方 ビジネスマナー	・仕事のルールと自己管理について ・ビジネスコミュニケーションの基本を学習する。 ・プレゼンテーションの効果的な方法を学習 ・訪問マナー、テーブルマナー・慶事や弔事のマナーを習得する。	【知識・技能】 ビジネスマナーや社会人の心構え、働き方について適切に収集・整理し、理解している。 【思考・判断・表現】 ロールプレイングによるビジネスシーンの再現ができる。	○	○	○	14
	外部講師による講演	・仕事塾「右脳左脳」 ・食生活・栄養のスペシャリスト ・幼児教育のスペシャリストによる講義・演習を実施する。	【主体的に学習に取り組む態度】 ロールプレイングに対する態度が主体的であるか。	○	○	○	12
	職業社会の課題について情報を整理し、現状と今後について、具体的に考察することが出来る授業の展開	・1人1台端末の活用		○	○		1
	定期考査			○	○		1
3 学 期	現代を知る ・生活と文化 ・環境 ・教育 ・福祉 ・科学技術 ・政治経済	・生活産業に関する時事問題に取り組みさせる。 副教材「現代を知る」「ノート」 1人1台端末の活用 ICTの活用	【知識・技能】 時事問題について基礎的な理解が出来ている。 【思考・判断・表現】 生活産業に関する課題についてまとめ、課題解決のための手段について考察ができてい	○	○	○	6
	外部講師による講演	・食生活・栄養のスペシャリスト・幼児教育のスペシャリストによる講義 ・1人1台端末の活用 ・ICTの活用	【主体的に学習に取り組む態度】 1年間の学びを網羅し、ライフスタイルや価値観の多様化に対応して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			○	8
	職業社会の課題について情報を整理し、現状と今後について、具体的に考察することが出来る授業の展開						合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

情報

科目 情報Ⅰ

教科： 情報

科目： 情報Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 図説 情報Ⅰ 実教出版 ）

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	オリエンテーション 序章 情報社会と私たち 【知識及び技能】 情報技術や情報社会について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	履修と修得、評価について ・既存の知識で情報社会、情報技術、情報社会における個人の責任について理解し、これからの深い学びに関心をもつことができるようにすること。 ・KJ法を用い班別課題を行い、発表を行う。 【教科書、ワークシート、端末】	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとoshi、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○		5
	1 章 情報社会と問題解決 【知識及び技能】 情報社会と問題解決、情報セキュリティについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・「情報」や「問題」という言葉の定義を理解し問題を発見するとともに問題の明確化を行うことができるようにすること。 ・問題解決について理解するとともに、様々な解決法をとoshi適切に活用できるようになること。 【教科書、ワークシート、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとoshi、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	2 章 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 デザイン、コミュニケーション、情報デザインについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・メディアの特性、様々なコミュニケーション手段の方法、情報デザインの表現方法について学び、役立てようとする。 ・情報デザインを理解し、各自が所属する科をイメージするポスターを作成する (Adobeソフトの利用) 【教科書、端末 (ノートの電子化)】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとoshi、めあての学習項目を理解している。端末におけるソフトウェアの使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	7
	3 章 情報とコンピュータ 【知識及び技能】 情報の表現方法、計算法、拡張子等について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・情報について学ぶとともに、情報の表現、アナログ、デジタルについて理解するとともに情報のデジタル化についても理解しようとしていること。 【教科書、端末 (ノートの電子化)】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとoshi、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms) を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○		9
	定期考査			○	○		1
	4 章 アルゴリズムとプログラミング 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの関係性を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	・アルゴリズムについて理解し、プログラミングの構造と紐づけて理解することができること。 【教科書、端末 (ノートの電子化)】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとoshi、めあての学習項目を理解している。端末におけるソフトウェアの使い方を理解している。 【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	5
	5 章 ネットワークと情報システム 【知識及び技能】 アルゴリズムを理解し、プログラミングとの関係性を理解している。	・ネットワークの仕組みの全般について理解している。情報システムのサービスや情報セキュリティについて理解している。	【知識・技能】 ワークシートや補助資料をとoshi、めあての学習項目を理解している。与えられた課題に対し自らの考えを記している。				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期	【思考力・判断力・表現力等】 事例を考え、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 発問をしたり、自己評価を行い、自らを客観的に振り返る。	【教科書、端末（ノートの電子化）】 ※自学自習用で外部教材利用	【思考・判断・表現】 事例や例題を自身で考えたり、他者と意見交換し学びを深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシートを効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms)を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○		7
	定期考査			○	○		1
	＜実習＞ オフィスソフトの活用 ・文書作成ソフトの活用 ・表計算ソフトの活用	・オフィスソフトの役割を理解し、情報化、データのまとめ分析方法について理解するとともに、文書作成ソフト、表計算ソフトにの活用ができること。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms)を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	11
3 学 期	＜実習＞ オフィスソフトの活用 ・プレゼンテーションソフトの活用 専科とのコラボ授業	・オフィスソフトの役割を理解し、プレゼンテーションについて理解するとともに、プレゼンテーションソフトを活用することができること。 与えられた課題について、時間を守り相手に分かりやすく伝えることができる。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms)を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	8
	＜実習＞ プログラミング ・Scrachを活用したゲーム作り	・アリズムとフローチャート、プログラミングについて理解するとともに、プログラミングをとおして論理的に学ぶことができること。 【教科書、ワークシート、デスクトップパソコン、外部教材、端末】 ※自学自習用で外部教材利用	【知識・技能】 使用するソフトウェアや機能について理解している。 【思考・判断・表現】 与えられた課題について、自ら考え取り組むことができる。他者と協力して物事を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 補助資料を効果的にまとめる、発問を行うことや、自己評価 (Forms)を行い、自らを客観的に振り返ることができる。	○	○	○	8
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 生活産業基礎

教科：家庭 科目：生活産業基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 5 組
 使用教科書：（ 実教出版 生活産業基礎 ）

教科 家庭 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 生活産業基礎 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業や関連する職業について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術・情報を収集・整理することができる。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、生活産業を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な進路選択と専門性の向上を目指して自ら学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生活と産業の関わり 【知識及び技能】 社会の変化に伴う産業の変化について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 調理師に関連する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調理師に関連する職業について自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。	・食に関する産業 ・調理に関連する産業 ・調理師免許と関連資格 ・一人1台端末を活用した資格と職業調査	生活と産業の関わり 【知識及び技能】 社会の変化に伴う産業の変化について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 調理師に関連する職業に就くための課題を発見し、その解決に向けて考察し工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 調理師に関連する職業について自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	職業生活と自己実現 【知識及び技能】 職業に就き、働く意義について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 調理師免許取得後の進路設計について、目標を設定し、その目標に向けて自己実現するための方策を考え、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活と現在の学業を結び付けて自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。	・職業生活と生きがい ・職業選択と自己実現 ・進路設計 ・一人1台端末を活用した進路設計すごろく作成	職業生活と自己実現 【知識及び技能】 職業に就き、働く意義について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 調理師免許取得後の進路設計について、目標を設定し、その目標に向けて自己実現するための方策を考え、まとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活と現在の学業を結び付けて自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	生活に対応した商品・サービスの提供 【知識及び技能】 消費者ニーズに関する情報の収集と分析の必要性、及び市場調査の方法について関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 商品・サービスの企画・開発及び販売と提供について一連の流れについてシミュレーションしまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 信頼される商品・サービスの提供について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付ける。	・消費者ニーズに対応した商品 ・市場調査 ・企画と開発 ・一人1台端末を活用した市場調査と情報収集	生活に対応した商品・サービスの提供 【知識及び技能】 消費者ニーズに関する情報の収集と分析の必要性及び市場調査の方法について関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 商品・サービスの企画・開発及び販売と提供について一連の流れについてシミュレーションしまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 信頼される商品・サービスの提供について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	外食産業の変遷と現代の課題 【知識及び技能】 食生活の変化と外食産業に関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 外食産業の歴史と現代の課題につ	・食生活の変化と外食産業の変遷 ・現代の食生活産業の課題 ・一人1台端末を活用した外食店調べと経営シミュレーション	外食産業の変遷と現代の課題 【知識及び技能】 食生活の変化と外食産業に関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 外食産業の歴史と現代の課題についてま				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	【学びに向かう力、人間性等】 外食産業の変遷と現代の課題について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。		【学びに向かう力、人間性等】 外食産業の変遷と現代の課題について自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	職業生活と自己実現 【知識及び技能】 調理師として社会に出て働く意義について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 調理師免許取得後の進路設計について、目標を設定し、その目標に向けて自己実現するための方策を考え、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活と現在の学業を結び付けて自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・調理師免許取得後の具体的な進路設計 ・調理師を生かした職業選択と社会貢献、調理師に求められる責務	職業生活と自己実現 【知識及び技能】 調理師として働く意義について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 調理師免許取得後の進路設計について、目標を設定し、その目標に向けて自己実現するための方策を考え、まとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活と現在の学業を結び付けて自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
3 学 期	【知識及び技能】 中国料理の食文化について学ぶ。中国の地方による食文化の違い、料理の種類の違いを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 中国料理のテーブルマナー、テーブルコーディネートについて知る。 【学びに向かう力、人間性等】 中国料理の食器等に触れ、多様な食文化への理解を深めるために、調べ学習などにおいて主体的かつ協働的に取り組む態度を身に着ける。	・フリップト ・食品成分表 ・一人1台端末の活用	中国料理の食文化を知り、特徴と系統を理解している。 【思考・判断・表現】 中国・アジアの料理の種類とマナーの背景を考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の料理についての調べ学習と発表において、多様な食文化を理解するために、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和7年度（1 学年用） 教科

家庭 科目 調理

教科： 家庭

科目： 調理

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 5 調理実習 レシピ集 食品成分表 ）

教科 家庭

の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 調理

の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、創造的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	調理実習の心得 【知識及び技能】 実践的学習に向け、基本となる衛生的観念やルール、マナーを身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 衛生的な習慣を身に付け、常に衛生を保つよう心がける 【学びに向かう力、人間性等】 食中毒予防にはどのような衛生的観念が必要かを知る	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 調理の衛生と調理師としての心構えが理解出来ている 【思考・判断・表現】 身だしなみを整え、白衣を衛生的に着用出来ている 【主体的に学習に取り組む態度】 手指の洗い方など細心の注意を払い作業をすることが出来ている	○	○	○	21
	料理の基礎（切り方） 【知識及び技能】 料理により使用する包丁の特徴とだしの違いを知る 【思考力、判断力、表現力等】 日本料理と西洋料理、中国料理での切り方の違いと名称の違いを理解し、技術を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 包丁を安全に使用し、食材を無駄にしない	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 菜切り包丁と牛刀、中華包丁のが違いと基本となるだしの取り方を理解している 【思考・判断・表現】 千切り＝ジュリエヌ＝絲のように同じ切り方でも名称が違うことを理解し、切ることが出来る 【主体的に学習に取り組む態度】 包丁を適切に取り扱い、自分の包丁ケースで管理することが出来る	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
2 学 期	料理に用いるだし 【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解する	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解している 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解して、だしを取ることが出来る	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
	料理に用いる食材の下ごしらえ 【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解する 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを知る	・教科書 ・プリント ・コックコート一式 ・包丁セット	【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解している 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを理解している	○	○	○	26
	定期考査			○	○		2
							合計 105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 栄養

教科： 家庭 科目： 栄養 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組～ 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 2 食品と栄養の特性 ）

教科 0 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 栄養 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、栄養面で健康の保持増進を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養素の機能と代謝、各ライフステージにおける栄養・労働・スポーツと栄養などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術・情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から栄養に関する課題を発見し、栄養面で健康の保持増進を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	栄養状態の改善の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・エネルギー、三大栄養素、食塩の栄養価計算 ・食品成分表 ・電卓	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	3
	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・エネルギー、三大栄養素、食塩の栄養価計算 ・食品成分表 ・電卓	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 炭水化物について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 炭水化物の種類と生理機能、糖質と食物繊維の違いについて考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 炭水化物への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	組む態度を身に付ける。						
	定期考査			○	○		1
2 学 期	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・アミノ酸スコアの計算 ・基礎代謝に関する計算 ・食品成分表 ・電卓	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 脂質、たんぱく質について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 脂質、たんぱく質の種類と生理機能について考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 脂質、たんぱく質への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 脂質、たんぱく質について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 脂質、たんぱく質の種類と生理機能について考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 脂質、たんぱく質への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝、食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・五大栄養素の栄養価計算 ・食品成分表 ・電卓	A 人体と栄養 【知識及び技能】 エネルギー代謝食物の摂取について理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 食品成分表を活用した栄養価計算等を通し、栄養面で健康の保持増進を担うため考察し、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 食物摂取と栄養への関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 ビタミン、ミネラルについて理解し、関連する情報を集約・整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ビタミン、ミネラルの種類と生理機能について考察し、工夫して表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ビタミン、ミネラルへの関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・一人1台端末を活用した動画の視聴による理解度の向上	B 栄養素の機能と代謝 【知識及び技能】 ビタミン、ミネラルについて理解し、関連する情報を集約・整理している。 【思考力、判断力、表現力等】 ビタミン、ミネラルの種類と生理機能について考察し、工夫して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ビタミン、ミネラルへの関心を高め、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
				○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 食品

教科： 家庭 科目： 食品 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 組～ 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 2 食品と栄養の特性 ）

教科 家庭 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上

と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、多様化する食品を適切に選択、活用して食生活の向上を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品の分類とその特徴、食品の機能、食品の表示、食品の加工と貯蔵などについて体系的・系統的に理解するとともに関連する技術・情報を収集・整理することができる。	食生活の現状から食品に関する課題を発見し、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	適切な食品の選択や活用の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：米、小麦、とうもろこし、大麦、そば、燕麦について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：魚介類について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：いも、でんぶん類、砂糖、甘味類の種類と性質について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：卵類、甲殻類と乳製品の性質と活用について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：野菜類について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：畜肉類について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）				13
	定期考査			○	○		1
	食品の特徴と性質 ◇植物性食品：果実類について、理論的理解をする。 ◆動物性食品：乳類について理論的理解をする。 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解決に向けて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ協働的に取り組む。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 植物性食品・動物性食品の特徴と性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品についてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習がきちんとできている）				14

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	定期考査			○	○		1
3 学 期	食品の特徴と性質 加工品やし好品、その他の食品、食 品の加工と貯蔵 【知識及び技能】 食品の分類とその特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 食品に関する課題を発見し、その解 決に向けて考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 食品のもつ機能の展開に主体的かつ 協働的に取り組むこと。	・教科書 ・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 加工品などその他食品の特徴と性質や食品に あった加工方法・貯蔵法を理解している。 【思考・判断・表現】 ワークシートに、植物性食品・動物性食品に ついてまとめている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループワークによる相互評価（班別実習が きちんとできている）				15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 家庭 科目 調理理論

教科：家庭 科目：調理理論 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 5 組

使用教科書：（ 全国調理師養成施設協会 5調理実習 レシピ集 食品成分表 ）

教科 家庭 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 調理理論 の目標： 家庭の生活の関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、創造的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決に向けて考察し、工夫する。	調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	調理の基本操作 非加熱調理操作（計量、洗浄、浸漬、切碎、混合・かくはん） 【知識及び技能】 計量カップ・計量スプーンの使い方、料理により使用する包丁の違いを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 調味料により計量の量や計り方の違いや、料理・食材によって包丁の切り方・使い方が違うことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 計量が的確にでき、包丁を安全に使用し食材を無駄にしない。	・教科書 ・プリント	【知識・技能】 計量カップ・計量スプーン、包丁の使い方を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 調味料により計量の量や計り方が違うことや、料理・食材により包丁の切り方や使い方が違うことを理解し、適切に使うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 包丁を適切に取り扱い、自分の包丁ケースで管理することができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	料理に用いるだし 【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解する。	・教科書 ・プリント	【知識及び技能】 料理の種類ごとに混合だし、ブイヨン、湯の種類を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 それぞれのだしに用いる食材を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 料理の種類ごとにだしの味を理解して、だしを取ることが出来る。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	料理に用いる食材の下ごしらえ 【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを知る。	・教科書 ・プリント	【知識・技能】 料理に用いる食材の下ごしらえ方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜、肉、魚により食材の下ごしらえ方が違うことを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 食材の下ごしらえ方により、見た目は味に影響があることを理解している。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 35

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

福祉

科目 社会福祉基礎

教科：福祉

科目：社会福祉基礎

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 6組～ 組

使用教科書：（実教出版「社会福祉基礎」 中央法規「人間の理解」「社会の理解」）

教科 福祉

の目標：

- 【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 社会福祉基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉の実践において必要な知識について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	社会福祉の展開に関する諸問題を発見し、援助者としての倫理観をふまえて、合理的かつ創造的に解決をする力を身に付けている。	健全で持続的な社会を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 第1章生活と福祉 【知識及び技能】 家族の多様化と働き方の変化について理解するとともに、疾病構造の変化が医療に及ぼす影響と健康増進の取り組みについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族の多様化と働き方の変化について理解するとともに、疾病構造の変化が医療に及ぼす影響と健康増進の取り組みについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の変化に伴うライフコースの多様化について理解し、個人の人生における社会福祉施策との関わりを主体的に考察する。	指導事項 ・少子高齢化と人口減少に向かう日本 ・産業と地域社会の変化 ・家族と働き方の変化 ・疾病構造の変化 ・人の一生と社会福祉 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末	【知識・技能】 生活と福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生活と福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、生活と福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	第1編 第2章社会福祉の理念 【知識及び技能】 生活を支えるしくみを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の共生社会のあり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的人権の尊重を理念として様々な人権に関する各種条約が採択されていることを理解し、今後の地域社会と社会福祉との関わりについて主体的に考察する。	指導事項 ・現代の福祉理念 ・日本国憲法と社会福祉 ・地域生活と社会福祉 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末	【知識・技能】 社会福祉の理念について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 社会福祉の理念に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の理念の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第1編 第3章人間の尊厳と新たな社会福祉の創造 【知識及び技能】 現代の社会福祉が自立生活支援を目指していることを理解し、社会の変化やニーズに応じて今後の自立生活支援のあり方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 人間に内在する「人間の尊厳」という価値を理解し、福祉サービス利用者に対する自立支援のあり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会的包摂の実現に向けて求められる福祉社会像を理解し、行政や専門職だけでなくボランティアとの協働などそれぞれの役割を考察する。	指導事項 ・人間としての尊厳 ・自立支援生活 ・新たな社会福祉の構築に向けて 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末	【知識・技能】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 人間の尊厳と新たな社会福祉の創造に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、人間の尊厳と新たな社会福祉の創造の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	第2編 第1章諸外国における社会福祉 【知識及び技能】 イギリスや北欧における福祉国家誕生の流れと歴史を理解するとともに、諸外国の社会福祉の歴史や特徴	指導事項 ・社会福祉の歴史 ・イギリスにおける社会福祉の発展 ・アメリカにおける社会福祉の発展	【知識・技能】 諸外国における社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 諸外国における社会福祉に関する課題を発				

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸外国の変遷の様子や北欧から発信されたノーマライゼーションの理念を理解し、諸外国のの取り組みをふまえて、今後の社会福祉のあり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 国によって社会福祉の状況は異なることをふまえて、共通する少子高齢化や貧困の問題などを理解し、諸外国と日本との違いを考察し、諸課題について主体的に解決する。 定期考査	・北欧の社会福祉 ・ヨーロッパ大陸諸国の社会保障（ドイツ、フランス） ・アジアの少子高齢化と社会福祉の課題 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、一人1台端末	見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、諸外国における社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
				○	○		1
3 学 期	第2章 第2章日本における社会福祉 【知識及び技能】 戦後の社会福祉制度の構築の過程と理念について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会福祉の見直しとして日本型の福祉論が提起され、ノーマライゼーションの理念や在宅福祉の推進や介護保険制度の導入の流れを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 福祉六法から2000年以降の福祉サービスの変化を理解し、幅広い分野との協働による今後の福祉のまちづくりについて考察する。 定期考査	指導事項 ・近代社会福祉の黎明期 ・社会事業の成立と発展 ・戦時厚生事業による福祉対策 ・戦後対策としての社会福祉の構築 ・高度経済成長期と社会保障・社会福祉の拡充 ・新世紀に向けた福祉改革と介護保険制度の導入 ・子ども・家庭支援のさらなる充実をめざして ・障害者福祉のさらなる充実をめざして ・次代に向けた新たな社会福祉の挑戦 教材 ・教科書 ワークシート 辞書	【知識・技能】 日本における社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本における社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、日本における社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
				○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

福祉

科目 介護福祉基礎

教科： 福祉 科目： 介護福祉基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 6 組～ 6 組

使用教科書：（ 介護福祉基礎 実教出版 ）

教科 福祉 の目標：

【知識及び技能】介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に

【思考力、判断力、表現力等】介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている

【学びに向かう力、人間性等】より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 介護福祉基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている	介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている	より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 介護を必要とする人と生活環境 【知識・技能】 生活環境の整備について理解し、正しい知識を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活環境の整備について主体的に考察できる。	・介護を必要とする人の生活環境 ・介護を必要とする人の背景と生活環境	【知識・技能】 生活環境の整備について理解し、正しい知識を身に着けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生活環境の整備について主体的に考察している。	○		○	6
	B 高齢者の生活と支援 【知識・技能】 高齢者の社会参加や環境について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 高齢者の社会参加に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 定期考査	・高齢者の活動 ・高齢者を取り巻く環境の考え方 ・高齢者の生活支援	【知識・技能】 高齢者の社会参加や環境について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 高齢者の社会参加に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の生活支援について主体的に考察して	○	○	○	9
	C 尊厳を支える介護 【知識・技能】 高齢者や障害者の人権について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 尊厳のある介護および自己決定の支援に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。 定期考査	・介護の意義、役割、尊厳を支える介護 ・利用主体の介護サービス ・介護を必要とする高齢者の人権と尊厳 ・介護を必要とする障害者の人権と尊厳	【知識・技能】 高齢者や障害者の人権について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 尊厳のある介護および自己決定の支援に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢者の人権や障害者の人権について主体的	○	○	○	12
				○	○		1
2 学期	D 福祉用具と介護ロボット 【知識・技能】 福祉用具について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 福祉用具を活用することで生じる諸課題を発見し、解決する力を身につける。	・福祉用具と介護ロボットの必要性 ・福祉用具と介護ロボットの有効的な活用	【知識・技能】 福祉用具について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 福祉用具を活用することで生じる諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 今後の福祉用具の活動について主体的に考察	○	○	○	6
	E 自立に向けた支援 【知識・技能】 自立支援について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 自立支援に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 定期考査	・自立を支援する専門職 ・個別性を尊重した自立のための支援	【知識・技能】 自立支援について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 自立支援に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自立支援について主体的に考察している。	○	○	○	6
	F 介護従事者の倫理 【知識・技能】 専門職の倫理やプライバシーの保護について理解し、正しい知識を身につける。 【思考・判断・表現】 専門職の倫理やプライバシーの保護に関する諸課題を発見し、解決する力を身につける。 定期考査	・専門職の倫理 ・専門職としての基本姿勢 ・プライバシーの保護	【知識・技能】 専門職の倫理やプライバシーの保護について理解し、正しい知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 専門職の倫理やプライバシーの保護に関する諸課題を発見し、解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 専門職の倫理やプライバシーの保護について	○	○	○	9
				○	○		1
3 学期	G 障害者の生活と支援 【知識・技能】 さまざまな障害の生活と支援について理解し、正しい知識を身につける。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな障害の生活と支援について主体的に考察できる。 定期考査	・障害とは何か ・肢体不自由者の生活と支援 ・視覚障害者、聴覚・言語障害者の生活と支援 ・内部障害者の生活と支援 ・知的障害者の生活と支援 ・発達障害者の生活と支援 ・精神障害者の生活と支援	【知識・技能】 さまざまな障害の生活と支援について理解し、正しい知識を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな障害の生活と支援について主体的に考察している。	○		○	17
							1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
				○	○		合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

福祉

科目 生活支援技術

教科：福祉 科目：生活支援技術

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 6組～ 組

使用教科書：（実教出版「生活支援技術」 中央法規「生活支援技術Ⅰ」「生活支援技術Ⅱ」）

教科 福祉 の目標：

- 【知識及び技能】介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に
 【思考力、判断力、表現力等】介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力
 を身に付けている
 【学びに向かう力、人間性等】より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付
 けている。

科目 生活支援技術 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護に必要な知識や意義、役割について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている	介護に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている	より良い介護を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編生活支援の理解 第1章生活の理解 第2章 生活支援の考え方 【知識及び技能】 生活・生活支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生活・生活支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、生活・生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導事項 ・生活とは ・生活形成 ・生活支援 ・尊厳の保持と自立支援 ・介護予防とリハビリテーション 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末	【知識・技能】 生活・生活支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生活・生活支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、生活・生活支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	第2編自立に向けた生活支援 第1章居住環境の整備 【知識及び技能】 居住環境の整備について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 居住環境の整備に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、居住環境の整備に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導事項 ・居住環境整備の基本理念 ・快適な居住環境 ・高齢者および障害者の住まい 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末、ベッド	【知識・技能】 居住環境の整備について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 居住環境の整備に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、居住環境の整備の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第3章身じたくの支援 【知識及び技能】 身じたくの支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 身じたくの支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、身じたくの支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導事項 ・身じたくの意義と役割 ・身じたくの支援の技法 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末、ベッド、衣類	【知識・技能】 身じたくの支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 身じたくの支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、身じたくの支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第4章移動の支援 【知識及び技能】 移動の支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 移動の支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、移動の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導事項 ・移動の意義と目的 ・移動の支援の技法 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末、ベッド、車いす、杖	【知識・技能】 移動の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 移動の支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、移動の支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第8章睡眠・休養の支援 【知識及び技能】 睡眠・休養の支援について体系的・系統的に理解していると共に、関連する介護技術を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 睡眠・休養の支援に関する諸問題を発見し、介護従事者としての倫理観を踏まえて、合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 より良い介護を目指して自ら学び、睡眠・休養の支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	指導事項 ・睡眠、休養の意義と目的 ・睡眠、休養の支援と技法 教材 ・教科書、ワークシート、辞書、 一人1台端末、ベッド	【知識・技能】 睡眠・休養の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 睡眠・休養の支援に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、睡眠・休養の支援の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
							合計 105

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

福祉

科目 介護総合演習

教科：福祉 科目：介護総合演習

単位数： 単位

対象学年組：第 1 学年 6 組～ 6 組

使用教科書：（中央法規 「介護実習・介護総合演習」

）

教科 福祉 の目標：

【知識及び技能】実践的・体験的な学習活動を行うことを通じて、介護を実践するために必要な技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】専門的な知識の能力を活用し適切に判断し、専門用語を用いて表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】福祉の見方や考え方を働かせ、他者と共同して問題解決など学びに向かう積極性を習得する。

科目 介護総合演習 の目標： 介護実習などについて、他科目で学んだ知識などを統合し、課題解決に必要な資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域福祉や社会福祉について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	地域福祉や社会福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、地域福祉や社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・介護演習 【知識・技能】 介護実習が適切かつ総合的に展開できるように、介護実習の意義や目的などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考・判断・表現】 介護実習を通して個人情報保護やリスクマネジメントなどについて課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 地域での継続した生活を支援する介護実習について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	・指導事項 介護演習 事例研究 ・教材 プリント、一人一台端末	【知識・技能】 介護実習施設の概要のみならず、意義や目的、実習生としての心構えなどの説明された内容を理解し、適切に記入する 【思考・判断・表現】 これまで他科目で学んだ知識と技術を統合し、具体的な事例について考察し、より良い生活支援について記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 具体的な事例をから得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する	○	○	○	11
2 学 期	・事例研究 【知識・技能】 事例研究を通してサービス利用者の心理や生活状態などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考・判断・表現】 介護実習や福祉活動などから得た体験についての課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 介護実習がや福祉活動などから得た体験について自ら学び、事例研究に主体的かつ協働的に取り組む	・指導事項 事例研究 ・教材 プリント、一人一台端末	【知識・技能】 介護実習を通して、利用者の心理や生活状態などについて、理解するとともに記入する 【思考・判断・表現】 介護実習から福祉専門職として必要な援助方法や価値観について考え、プリントに記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 介護実習の経験から得た課題について、解決方法などをグループの中で話し合い、より良い方法を見つけ出し、発表する	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学 期	・調査、研究、実験 【知識・技能】 調査、研究、実験を通して、福祉の各分野について理解するとともに、関連する技術を身に付ける 【思考・判断・表現】 福祉の各分野について、調査、研究、実験などを通して課題を発見するとともに、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する 【主体的に学習に取り組む態度】 福祉の各分野について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む	・指導事項 調査、研究、実験 ・教材 プリント、一人一台端末	【知識・技能】 社会福祉基礎の内容と介護実習での経験から、関連する部分を理解し、記入する 【思考・判断・表現】 介護実習や社会人講師の講演を通して、地域福祉について、福祉施設の役割等を考察し、その内容を記入する 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習や経験を通して、これからの福祉に必要なことなどを、グループで話し合い、まとめた内容を発表する	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

福祉

科目 介護実習

教科：福祉

科目：介護実習

単位数：

単位

対象学年組：第 1 学年 6 組～ 組

使用教科書：（中央法規 「介護実習・介護総合演習」

）

教科 福祉

の目標：

【知識及び技能】介護従事者としての職業倫理及び基礎的基本的意識と技能を習得する

【思考力、判断力、表現力等】各科目の学習で得た知識を生かし、施設利用者の生活と背景を理解した関わりをすることができる

【学びに向かう力、人間性等】様々な対象者に対するコミュニケーションを積極的に図り、介護従事者に必要な人減関係の構築を図る

科目 介護実習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護従事者としての職業倫理及び基礎的・基本的な知識と技術を活用した介護支援が選択できるようにする	職員の方や利用者の方とのかかわりを通じて介護の実際を学び、適切な態度と言葉使いで他者と関係性を育み、適切な表現を用いて実習記録に記入できる	施設実習での様々な場面において、なぜそのような支援が必要なのか、介護の本質は何かについて深く理解しようと努め、関心を持って実習に望んでいる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	介護実習事前指導 【知識及び技能】 福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な実習目標を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 介護実習の留意点を正しく理解し、実践に向けて考察する 【学びに向かう力、人間性等】	実習の手引き 実習の心得 実習記録の書き方 実習の留意点等 テキスト・教科書・手引き等を用いて指導	【知識・技能】 福祉の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な実習目標を心得ている 【思考・判断・表現】 介護実習の留意点を正しく理解し、実践できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対する積極性がみられる	○	○	○	
2 学期	夏季休業 5日間の施設実習 【知識及び技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ適切に実施する方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 安全・安楽・安心で健全な適切な介護実習を実施する	施設実習（障害者施設） 巡回指導を定期的に実施 実習指導者との連絡調整	【知識・技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できた 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを積極的に活用し、利用者一人ひとりに応じたケアの理解に努めた 【主体的に学習に取り組む態度】 アセスメントシートを活用し、専門用語を使用する	○	○	○	35
	9日間の施設実習 【知識及び技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ適切に実施する方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 安全・安楽・安心で健全な適切な介護実習の実施方法、利用者一人ひとりの個性や生活リズムを尊重した個別化ケアを実施する	施設実習（介護老人福祉施設） 巡回指導を定期的に実施 実習指導者との連絡調整	【知識・技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できた 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを積極的に活用し、利用者一人ひとりに応じたケアの理解に努めた 【主体的に学習に取り組む態度】 アセスメントシートを活用し、介護過程の学習を実践して対象者の全体像を記録できた	○	○	○	70
	介護実習事後指導 【知識及び技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ適切に実施する方法を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 安全・安楽・安心で健全な適切な介護実習を実施する	実習成果報告 成果発表会に向けての準備	【知識・技能】 介護従事者の役割を把握し、基礎的な介護技術について実践的・体験的な介護実習を積極的かつ安全に実施できた 【思考・判断・表現】 コミュニケーションを積極的に活用し、利用者理解に努めた 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	
3 学期							合計 105

科目 こころとからだの理解 **の目標：**

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1. こころの理解 ①私たちの生活と健康 ②人間の欲求の基本的理解 ③動機づけ 【知識及び技能】 健康の概念や人間の欲求、尊厳等について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 介護従事者として必要な基本的なこころのしくみを理解し、適切に表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働して積極的に学習に取り組める。 定期考査	・介護従事者として、健康をどのようにとらえるべきかを考え、自分の言葉で表現できるよう指導する。 ・人間の心とは何か、人間の欲求や尊厳と関連させながら考え理解させる。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	8
	④自己概念と尊厳 ⑤思考・感情のしくみ ⑥学習・記憶のしくみ ⑦知能のしくみ ⑧適応と防衛機制 【知識及び技能】 人間の思考や学習・記憶、知能のしくみについて理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 人の心の動きやしくみを事例を通じて学習し、気づき適切な表現を用いて理解できる 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働して積極的に学習に取り組める 定期考査	・人間の心の働きやこころのしくみを事例や協働学習から学んで気がつき個々の個性を知り、他者理解を深め、介護従事者としての知識を得られるよう関連付ける。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2. からだのしくみの理解 ①生命維持・恒常性のしくみ ②脳・神経系のしくみ ③運動器系のしくみ ④循環器系のしくみ 【知識及び技能】 ・介護に必要な基本的な身体機能を理解し活用できる。 ・介護を必要とする人の心身機能観察し、アセスメントを活用して適切な対応ができる知識を得られる。 【思考力、判断力、表現力等】 脳・運動器系の機能を理解し、介護従事者として技能を活用できる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組める。 定期考査	・人がどのようにして生命を維持し、心身の機能のバランスを保っているのかを学び、生きることと健康生活について学ぶ。 ・脳神経系のしくみを理解し、どのように人の思考や行動に影響するのか、要介護者へのアセスメントに用いる知識を得る。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と協働的に取り組んでいる	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	⑤消化器系のしくみ ⑥呼吸器系のしくみ ⑦感覚器系のしくみ ⑧内分泌系のしくみ 【知識及び技能】 食する、消化する、排泄する等の基本的な知識を身に付けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 身体のしくみや構造、働きについて適切に理解し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組める。	・食べる、呼吸する、など身体活動に関連した基本的な知識を得るとともに、書く機関の役割を学習し、アセスメントに必要な知識を身に付ける。 ・介護従事者として必要な知識と観察力、及び五感を生かし、対象の変化に気がつくことができるよう、事例や演習を通じて知識と技能を身に付ける。 ・内分泌や生命の維持・恒常性を理解し、適切にアセスメントでき、必要な支援を判断できるように奨励問題に取り組ませる。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等を活用し積極的に学び知識を理解し、統合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノートにおいて専門的な用語を用いて適切な表現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同的に取り組んでいる				15

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	定期考査			○	○		1
3 学 期	⑨泌尿器系のしくみ ⑩生殖器系のしくみ ⑪血液・免疫系のしくみ 【知識及び技能】 身体の様々な機能をつかさどる内分 泌系の機能について理解を深め、し くみを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 内分泌系の構造と働きについて意図 的な観察により適切に状態を考察で きる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組める 定期考査	・尿の生成や排泄のしくみ、健康 的な状態及び不健康時の対応につい て身体機能を鑑みて判断することが できるように授業を展開する。 ・生活支援と健康状態、及び機能障 害について関連付けて考察し、適切 な支援を知識を基に分析して選択 し、安全にかかわれる方法を考察す ることができるように、演習や事例 を用いる。 ・教材 教科書、ワークシート、辞書	【知識・技能】 教科書・視聴覚教材・学習プリント等 を活用し積極的に学び知識を理解し、統 合的に知識を活用する取り組み姿勢がある 【思考・判断・表現】 授業内で使用する学習プリント・ノート において専門的な用語を用いて適切な表 現を工夫できている 【主体的に学習に取り組む態度】 学習活動への参加状況と取り組み態度 他者と共同に取り組んでいる	○	○	○	18
				○	○		1
							合計
							70